臺灣新民報 夕刊
（第二期）（原第四種）（明治卅一年五月九日第二種郵便物認可）昭和十一年十月十日
臺灣日日新報社 第一万二千百二十六號 （上種日）（一）

指導原理は日支間に一致

具體的交渉は相當長引かう

反動派の態度が疑問

【七海八日発電本社特派員】船橋期的日支會談交渉は八日の川越・廣田一次會見で花々しいスタートを切つた。同會見は東亞安定の根本方針より日支兩國の指導原理を決したもので川越大使は
（一）日支國交調整の根本たる支那の排抗日思想の緩減（二）防共合作（三）北支の安定に必要なる措置（四）日支經濟提携
等につき滿腔の誠意を以て說明、廣田は
（一）滿洲國に於ける領土保全、之に關する行政機問題（二）北支の特殊事態の調整
等に關し率直に突込んだ意見の交換があつたが、兩者の意見は原則的に一致したものの如く
破局の危機は一瞬にして朗らかな常道外交に復歸する效果を擧げ
會談の第四次會見は八日午後三時より外相官邸に於て開かれ具體問題に入り交渉が重ねられたものと見られ其後關係上より交渉は暫く中斷されるが、會見は數回に亘つて繼續される模樣である。併し會談の進展如何によつては廣田外相は更に川越大使を招致して會談を續行する模樣である。

北支問題に關しては
蔣氏の誠意認めも難し

公電到著 日本は妥協せず

我が外務當局は全く大の不安を有してゐる、即ち兩大使が自ら交渉の矢面に立ち日支國交を打開せんとする誠意は認めるも、之れを實現するの具體的方策を見出し得ざるにあり、即ち兩大使の會談は日支兩國間の根本的調整を目的とするものであつて、其の成否は單に兩大使の誠意と努力のみによつて決せらるべき問題ではなく、兩國政府が如何なる程度まで之れに協力するかに懸つてゐるからである、從つて兩大使の會談は日支兩國間の根本的調整に關する兩國政府の意向を探る豫備的會談であるとも言ひ得る、

難關打開は可能

會見後 蔣介石氏語る

【南京八日發同盟】蔣介石氏は川越大使との會談後、中央通訊社を通じ左の如き談話を發表した
川越大使との會談は日支兩國關係の根源及び東亞大局の一般問題に關し互に意見を開陳交換したるものにして、雙方とも誠意を以て坦懐に語り合ひ具體的問題に關しては尙ほ數回の會談の續行を必要とするも、今回の會談の上に立つて言ひ、川越大使の誠意と誠意とを以て會談を進めたいと思ふ

【南京八日發同盟】蔣介石氏と川越大使との會談は八日午後三時より外相官邸に於て開かれ、廣田外相、船橋書記官、川越大使、通譯官出席、會談は約二時間に亘つたが、會談の詳細は發表されず、

漢口の我思明堂に個者が爆彈を投入

幸に不發、被害はないが

時節柄重大視さる

【漢口八日發同盟】當地第三特別區太平街思明堂書籍藥房植松康行(岐阜縣人)方に八日午後六時四十五分何者か爆彈を投じたが幸ひ不發に終り被害はなかつたが附近には多數の三井物産支店等多數邦人商社あり支那人一流の商店も櫛比してゐるところで事件發生と同時に非常な混雜に陷つたが直ちに布かれた非常警戒の爲其の後漸やく鎭靜を保つてゐる

爆彈は支那軍隊用のもの

三・五センチの支那軍隊用のもので我が總領事館警察に押收された

(漢口八日發同盟)思明堂書籍藥房に投げ込まれた爆彈は直徑一・五センチ長さ

交通遮斷して嚴戒

(漢口八日發同盟)陸戰隊は事件發生と同時に租界内の非常警戒に當り總領事館警察は事件の日本租界内波及を慮り陸戰隊と共同して水も洩らさぬ警戒陣を布いてゐる、尙支那側公安局、武漢警備司令部も直ちに非常警戒に入り太平街附近一帶を交通遮斷した

二浦總領事要求

(漢口八日發同盟)二浦總領事は事件發生後直ちに湖北省政府に對しこの際卽時責任を以て有效適切なる邦人保護の處置を講じ且つ犯人を逮捕せよと要求した

現場は繁華な商店街

【漢口八日發同盟】爆彈事件の現場たる思明堂書籍藥房の在る太平街は漢口第一の商店街にして附近には高級三井物産支店等多數邦人商社あり支那人一流の商店も櫛比してゐるところで事件發生と同時に非常な混雜に陷つたが直ちに布かれた非常警戒の爲其の後漸やく鎭靜を保つてゐる

暴行した英兵曹

檢察局に送致さる

九日一件書類と共に

既報、去る八日華北大稻埕のカフエーエルテルで鼻持ちならぬ亂暴を働き憲兵分隊に留置、愼重取調中の英國軍艦ハーセウス號乘組一等機關兵曹エチ・エル・フオード(二九)に係る暴行建造物損壞、器物毀棄事件は取調の一切を終了したので九日午前憲兵分隊長から一件書類と共に身柄を臺北地方法院檢察局へ送致した

威信保持のため處斷

大木憲兵隊長談

「軍隊は帝國の威信保持のため國法に基く公正斷固たる態度を以て事件を處理する方針である

撮影事件に關し

英艦長が陳謝

九日駐臺領事と共に

要塞司令官を訪問して

【臺北電話】英艦ヘーセウス號乘組一等機關兵曹エチ・エル・フオードが八日午後臺北大稻埕の料理屋で撮影した寫眞が同艦乘組員の手に渡つたことは既報の如くであるが、同艦艦長ジー・ゴールター大佐と何事か打合せの後午前十時二十分頃上陸、先づ基隆要塞司令部を訪れたが丁度不在中であつたので同司令官代理參謀長ウイリアム・ビー・ヂヨンス中佐に面會、次いで同艦乘組員の撮影事件につき陳謝した

教科書調査本會議

【臺北電話】教科書調査本會議は九日午前十時から總督府會議室で開かれ、總督府學務課長、各學校長、教員等委員全部出席、小林學務課長の下に配屬將校及び英國軍艦ヘーセウス號乘組員の撮影事件につき陳謝した

英艦長が陳謝

九日駐臺領事と共に

要塞司令官を訪問して

【臺北電話】英艦ヘーセウス號乘組一等機關兵曹エチ・エル・フオードが八日午後臺北大稻埕の料理屋で撮影した寫眞が同艦乘組員の手に渡つたことは既報の如くであるが、同艦艦長ジー・ゴールター大佐と何事か打合せの後午前十時二十分頃上陸、先づ基隆要塞司令部を訪れたが丁度不在中であつたので同出

寫眞は九日送局された英兵曹

四名の英水兵が

投で無錢遊興

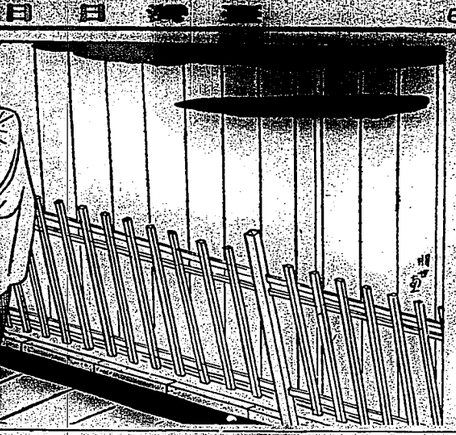
届出により基隆で手配したが

軍艦内に逃げ込む

【基隆電話】八日夜半から九日朝にかけ基隆港碼頭に碇泊中の英艦ヘーセウス號乘組水兵四名は同地要塞司令部に對し一定期間上陸を許可されたいと申出たので同部では之を許可したが、同艦は一定期間經過後も出港しないので同部では之が手配をしたが、同艦は一定期間經過後も出港しないので同部では之が手配をしたが、同艦は一定期間經過後も出港しないので同部では之が手配をした

御殿女中（67）

邦枝完二作　神保朋世画



熱燗（四）

つてもしてもらへるちやねえか、それより前後の隣り七軒の方が先だぜ。」

「そりやマアさうだが。……お花坊の顔も見ながら、このまま廊つちまおなんて、勿體ねえなアア。」

「おやアおれア先へ行つちまふぜ。」——

「おつと、待つとくんなさえ。一人でなんか行かれちまつたんぢやねえ。」

いくらかの期待で角八に捧はせた仙蔵は、最後に雲さんとお花の噂を浴びながら、あたふたと表へ出て行つた。

雪になるだらうとさへ思はれてゐた夜は、北風の吹き募ると共にからりと晴れて、十三日の月が冴ゆり冴えて、しんしんと更け渡つて行く。

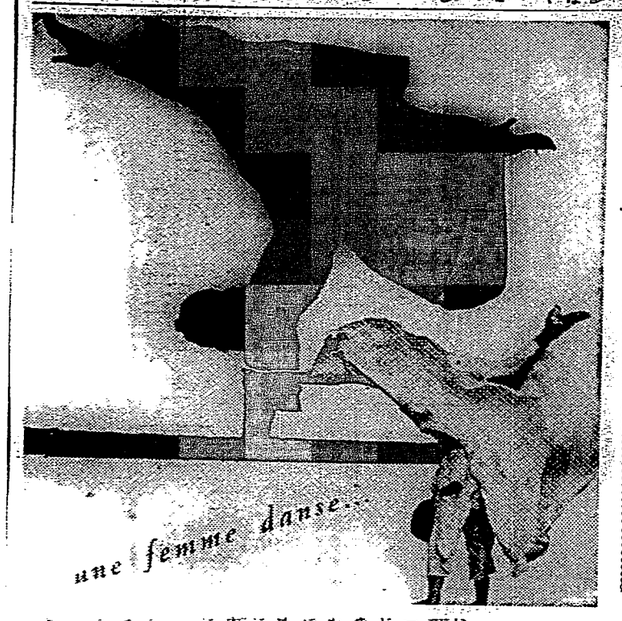
「今云つた通りだ。おれが一緒に連入つちやア都合が悪いから、おめへ一人で這入つねえ。おれアこの天水桶の影で待つてるからの。」

「どうにも引き返しがつかなくなつたひとり我が手に憐みやすせ。」

「何を云つてんだなこつちが憐を乞せてやらうつて方法ちやアねえか。押返しがつくもつかねえもあるもんぢやねえ。さうさと這入つて、しつかり仕事をして来ねえ。」

「おやアともかく這入りやすと」

月を背にした仙蔵の歩みが格子の方へ誘れるのを、角八は天水桶の陰からやアと見守つてゐた。



「なアに、なんだつて。」

「なアに、表へ出た角八の眼は大きかつた。

「そ、そりやおめへ本當かい。」

「あたしも見やアしませんが、おしまさんもお安さんも、おんなじやうに見たつて居る。——」

「仙の字。」

角八はつと立上つた。

「へえ。」

「出ようぢやねえか。」

「だつて親分、折角お花坊が居つて來たんぢやござんせんか。三三獨酌をしてもらつてからの。——」

「何を云つてるんだ。酔たなんざ

蟹の手も欲しいなんて雲さんが云つてるくらゐなもんだのさ。」

「それなのにおめへ、なんで廻つて來たんだ。——さうか、さては角にお貴ひたくなつたんだつてわけだな。」

「おや、そんなこつちやアござんせんよ。——ねえお花さん、あたしやもう怖くて、越前屋さんにやアられないよ。」

「何をいふんだこの子は。廻多なロをきくと、大家さんがどんなに御迷惑をなさるか知れないぢやないか。」

「でもあたしや、本當に怖くつて堪まらないんだもの。お藤ン中へお蔵さんのお化が出るつていふし……」

「だつて親分、酉の酒入つてるんで、さう急いぢやぢやせんよ。」

「おめへ一人ぢやねえ。酉の酒入つてるなアおれだつておんなじこつた。」

角八に急き立てられながら、小鰭みにゆく、越前屋は、つい四、五丁の先だつた。

「仙の字。」

「へえ。」

發起に於て「東西合同浪曲大會」が開催される、出演者は關西派の關東派の東家藏大夫、吉田奈良丸、物は前者は「水戸黄門」後者は「源義經」であると（筆者は上、若春、下、燕木夫）

今週映畫

P・C・L特作　兄いもうと

九日より大世界館

▲脚説・演出原作者は江口又吉）脚色・木村荘十・小林重喜

▲石鳥（十月號）月は疾ゆる（白田亜浪）秋立つ日頃（井上日召）新浪漫主義と新興俳句（義仲俳原田石鼎）照り陽（分光光）芭蕉に就て（渭水二題）その他（定価二十五錢・東京日日黒區御茶ノ水一ノ二〇其他）

▲ゆうかり（十月號）裏藤旬研究（孕む湯を潮む（松山俳人）

雑誌紹介

竹久千恵子と、妹盟ひの兄弟之（丸山定夫）。銀之藥てた小畑を永く恨みながら、男が自己の目前に現はれて來た時許してやる父赤座（小杉義男）。然し猛ろは許せず宇殺しにしてやつたと猪之が云つた時、妹もんはかへつて兄を爲倒する。さうした心理の一篇。

▲同時上映ーメトロ「愛初戀」（ウオーレス・ビアリイ・ライオネル・バリモア・エリヴ・クリンデン、センリア・バーカー主演）とコロムビア「月光矢部の怪劇」（ロバート・アレン、バーバラ・ケント主演）

臺日聯珠

『二輪』正解

棋會案擬石調

正解案

1（三）の後甲又は乙にて（四）

名家敗退將棋（七）

石井氏一回勝二回目

先手　六段△石井秀吉

先　六段▲山北孫三郎

（闘の局面）

歩歩（脇将氏指）

一	二	三	四	五	六	七	八	九	
桂	歩							香	一
	歩						飛	桂	二
王	歩								三
	歩							歩	四
	歩							歩	五
	歩							歩	六
	歩							歩	七
	歩	金	銀	銀				歩	八
	歩	金	桂	玉				歩	九

▲山北氏（先行）角歩歩

△二玉▲五金△三金右▲三六歩△三五歩▲同歩△同馬▲二六角△同馬▲同飛

△石井六段曰く　二玉は三一桂と跳ねても後に響が出來さうである又四二金右と指しては敵に五一角と打ち込まれ面白くない

▲山北六段曰く　五七金と上るのは形として最も強い、が飛車の利きがあれば自玉は安全と思ひました

△石井六段曰く　三三金と締つたは三一桂でも何となく危險に思つたので眞に形であるが三三金と運んだ

▲山北六段曰く　三六歩の處二六歩と突き歩を打つて敵の進出を防ぐ處であるが、三五歩と打つて敵の進出を防ぐ處であり山北君の三六歩と突いたのは桂の活用を狙ひ四筋に逆襲する意味で王宮である山北君の二六角と打ち角の交換を挑むのは敵の八玉を阻止する意味で當然である——

珍書樂

植原路郎

▼王様酒▲

ウヰッカといふ火酒がある、世間ではウヰの次のッをつめて發音する人が多いが、かつてロシア通として所謂の高かつた故博公はウヰッカと、ッを語めずにそのままはつきり發音してゐた、やはりそれが本當のやうだ、ロシア酒にはアブサンといふのがある、クミチンキのやうな臭ひがするが、これは水と半半に割り、飲み飽きない人はこれに砂糖を入れるのが流行である、生のまま飲んで尊意がる人があるが、耶れないと言つて酷い目に會ふ、火酒の佛間にシンがある、ヨーロッパでは、これを「王様酒」と呼んで嬉がる向もある、水晶の如き透明な美味、そして一種獄みると感ちいい氣持になつて、王様になつたやうな氣分がする——といふわけである

美女のからだが花びらとなつて踊る

世界的舞姫フロールの超人間的技法を見る

（舞踊）

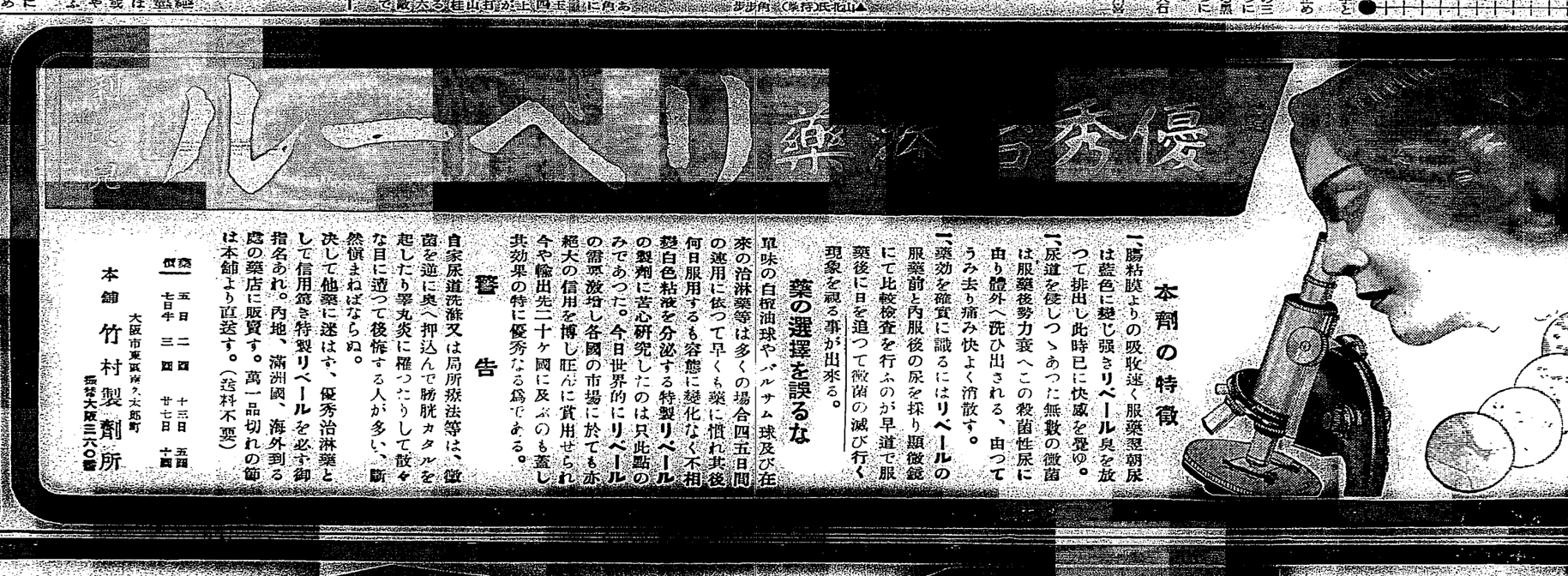
☆最近舞踏界に

は各種の新形式と新表現とが續々現はれて來ましたが、これもその一つ——フランスの新聞電報をはじめ歐米各國を通じて「生きた花生るゝ」といふ通り言葉を用ひてゐるほどに大變な評判です

るドリイ・フロールは、一體如何な曲技的方法で、牛々とした二重の驚異に化すのか——その技巧こそは驚嘆すべきもので、舞踏の中で最も興味ある點は身體全體、殊に腰にかやうに美しい花辨とさへ變つてしまふといふのです

依り、まづスカートの布のひらめきに依つて描き出される發の姿のつぎにかくしてゐるかたちに依つて頭にこれまでいくつかの型を發見するのです

今ここに掲げた寫眞はポーズを直接と寫眞とに依つて説明するのが一番よいのですが、紙面の都合上、ほんの一部分だけを掲げることにしました



本劑の特徴

一、腸粘膜よりの吸收速く服藥翌朝尿は藍色に變じ强きリベール臭を放つて排出し此時已に快感を覺ゆ。

一、尿道を侵しつゝあつた無數の微菌は服藥後勢力衰へこの殺菌性尿に由り體外へ洗ひ出される、由つてうみ去り痛み快よく消散す。

一、藥効を確實に識るにはリベールの服藥前と內服後の尿を採り顯微鏡にて比較檢査を行ふのが早道で服藥後に日を追つて微菌の減び行く現象を觀る事が出來る。

藥の選擇を誤るな

單味の白樫油球やバルサム球及び在來の治淋藥等は多くの場合四五日間の連用に依つて早くも藥に慣れ其後何日服用するも容態に變化なく不相變白色粘液を分泌する特製リベールの製劑に苦心研究したのは只此點のみであつた。今日世界的にリベールの需要激增し各國の市場に於ても亦絶大の信用を博し旺んに賞用せられ今や輸出先二十ケ國に及ぶのも蓋し共効果の特に優秀なる爲である。

警告

自家尿道洗滌又は局所療法等は、微菌を逆に奥へ押込んで膀胱カタルを起したり睾丸炎に罹つたりして甚々な目に遭つて後悔する人が多い、愚然まねばならぬ。

決して他藥に迷はず、優秀治淋藥としてリベールを必ず御指名あれ。內地、滿洲國、海外到る處の藥店に販賣す。萬一品切れの節は本舗より直送す。（送料不要）

（發賣元）大阪市東區南久太郎町　五日　二四　十三日　五四
七日半　三四　廿七日　十四

本舗　竹村製劑所　振替大阪三六〇番

滿洲開發株式會社 已成案資本五千萬

東京九日電。拓務省。計畫二十年百萬戶。大量移民滿洲。其中優先開。爲滿洲拓殖株式會社（現在資本金千五百萬圓）。五千萬圓增資案。銳意研究。頃已得成案。決定新設滿洲開發株式會社。併合滿洲拓殖。其要綱如左。

一、滿洲開發。照日滿兩國條約。爲日滿洲國特殊法人。而受日本滿洲兩國政府之監督。

一、資本金五千萬圓。分爲百萬株。一株五十圓。第一回拂込二十五百萬圓。

一、滿洲國滿鐵。及日本民間。各負擔株式三分之一。其社債發行限度。至資本金十倍。

一、政府對民間所有持株。配當年六分。及其扯利。

一、切補償。

一、會社置總裁一名。理事監事若干名。總裁日本政府任命之。

一、至明年九月九日。設立會社。

爆彈投下現狀 在繁華商店街 經非常警戒後即鎮靜

濱口八日電。爆彈事件。現場在出明堂書房之太平街。爲濱口第一商店街。附近有盛銀。三井物產支店等。多數邦人商社。華人一流商店。亦相輻比。事件發生當時。非常混雜。登時非常警戒。其後即鎮靜云

會談本之不等而進 一切難題可能解決 蔣氏會見後發表談話

南京八日電。蔣介石氏。與川越大使會談後。經中央通信。其所談發表如左。

八日與川越大使會談。即就日華兩國交前途及東亞大局二點。不開具體問題。意見交換。方針談精神。完全在年等之基礎。川越大使精神與態度。至誠懇洽泊。實深感服。即照最廣泛之演說。不容放不使略之則。謀以調整國交者。

盛惡宣傳離間日華 反日策動近現 蔣氏不善處恐有不測難關

南京八日電。日華關係緊張。英、米、俄、法等。歐洲各國大公使。均以双十節當晚之名目。兩三日來。陸續來京。注視日華交涉之成行。頗見脈重。英國訪蔣介石氏。叙到任之禮。並言英國於日華交涉。大體抱樂觀之態度。蔣氏答。謝其關心之意。似詢問會談內容。暗探某々方面。運動國民政府部內之歐米派。仇大使。八日午後二時。

臺北州當局 集街庄長 從商州會選舉

臺北州。對州會議員選舉。各街庄長爲投票管理者。而慣猶唱四十八九圓。斤肉約五十錢。加貴二成餘。雖由產地配出少數。亦因制限所致。不獨市民苦於

制限屠豚肉價暴騰 豚仲買人決議撤廢 家畜市場再召集會議

從來臺北家畜市場之屠豚。每日兩回。第一回即前日之申告。第二回乃當日早朝申告者。屠場開設。以來兩回屠殺頭數皆無制限。然自今夏六月間。家畜市場。即對第二回之屠豚。制限爲三十頭。自是以來。屠殺豚數。恒不足用。且致肉價騰昂。市民消費黃肉。去九月初。臺北家畜仲買人組合。會開役員會。席上議及制限撤廢之事。因賛否兩論對立。遂照現狀維持至今。目下豚價日昂。最貴時百廷五十三四圓。近日南部豚畜配到稍多。

臺東防衛團 防空演習 昌雨實施

臺東街防衛團。去七日午後六時起。實施第一回防空演習。是日該團警護。警報。交通整理各班。均于午後五時半前。齊集公會堂。同正六時。街役場本部命令下。各班齊就部署。同六時半起。入替滅燈。全員胃雨活動。頗見緊張。畢有郡守訓示。淺野所長訓辭。受賞者陳大木氏總代答辭。下午二時散會。

盛惡宣傳離間日華 反日策動近現 蔣氏不善處恐有不測難關

南京八日電。日華關係緊張。英、米、俄、法等。歐洲各國大公使。均以双十節當晚之名目。兩三日來。陸續來京。注視日華交涉之成行。頗見脈重。英國訪蔣介石氏。叙到任之禮。並言英國於日華交涉。大體抱樂觀之態度。蔣氏答。謝其關心之意。似詢問會談內容。暗探某々方面。運動國民政府部內之歐米派。仇大使。八日午後二時。

臺北州當局 集街庄長 從商州會選舉

臺北州。對州會議員選舉。各街庄長爲投票管理者。而慣猶唱四十八九圓。斤肉約五十錢。加貴二成餘。雖由產地配出少數。亦因制限所致。不獨市民苦於

制限屠豚肉價暴騰 豚仲買人決議撤廢 家畜市場再召集會議

從來臺北家畜市場之屠豚。每日兩回。第一回即前日之申告。第二回乃當日早朝申告者。屠場開設。以來兩回屠殺頭數皆無制限。然自今夏六月間。家畜市場。即對第二回之屠豚。制限爲三十頭。自是以來。屠殺豚數。恒不足用。且致肉價騰昂。市民消費黃肉。去九月初。臺北家畜仲買人組合。會開役員會。席上議及制限撤廢之事。因賛否兩論對立。遂照現狀維持至今。目下豚價日昂。最貴時百廷五十三四圓。近日南部豚畜配到稍多。

會談本之不等而進 一切難題可能解決 蔣氏會見後發表談話

南京八日電。蔣介石氏。與川越大使會談後。經中央通信。其所談發表如左。

八日與川越大使會談。即就日華兩國交前途及東亞大局二點。不開具體問題。意見交換。方針談精神。完全在年等之基礎。川越大使精神與態度。至誠懇洽泊。實深感服。即照最廣泛之演說。不容放不使略之則。謀以調整國交者。

盛惡宣傳離間日華 反日策動近現 蔣氏不善處恐有不測難關

南京八日電。日華關係緊張。英、米、俄、法等。歐洲各國大公使。均以双十節當晚之名目。兩三日來。陸續來京。注視日華交涉之成行。頗見脈重。英國訪蔣介石氏。叙到任之禮。並言英國於日華交涉。大體抱樂觀之態度。蔣氏答。謝其關心之意。似詢問會談內容。暗探某々方面。運動國民政府部內之歐米派。仇大使。八日午後二時。

臺北州當局 集街庄長 從商州會選舉

臺北州。對州會議員選舉。各街庄長爲投票管理者。而慣猶唱四十八九圓。斤肉約五十錢。加貴二成餘。雖由產地配出少數。亦因制限所致。不獨市民苦於

制限屠豚肉價暴騰 豚仲買人決議撤廢 家畜市場再召集會議

從來臺北家畜市場之屠豚。每日兩回。第一回即前日之申告。第二回乃當日早朝申告者。屠場開設。以來兩回屠殺頭數皆無制限。然自今夏六月間。家畜市場。即對第二回之屠豚。制限爲三十頭。自是以來。屠殺豚數。恒不足用。且致肉價騰昂。市民消費黃肉。去九月初。臺北家畜仲買人組合。會開役員會。席上議及制限撤廢之事。因賛否兩論對立。遂照現狀維持至今。目下豚價日昂。最貴時百廷五十三四圓。近日南部豚畜配到稍多。

滿洲開發株式會社 已成案資本五千萬

東京九日電。拓務省。計畫二十年百萬戶。大量移民滿洲。其中優先開。爲滿洲拓殖株式會社（現在資本金千五百萬圓）。五千萬圓增資案。銳意研究。頃已得成案。決定新設滿洲開發株式會社。併合滿洲拓殖。其要綱如左。

一、滿洲開發。照日滿兩國條約。爲日滿洲國特殊法人。而受日本滿洲兩國政府之監督。

一、資本金五千萬圓。分爲百萬株。一株五十圓。第一回拂込二十五百萬圓。

一、滿洲國滿鐵。及日本民間。各負擔株式三分之一。其社債發行限度。至資本金十倍。

一、政府對民間所有持株。配當年六分。及其扯利。

一、切補償。

一、會社置總裁一名。理事監事若干名。總裁日本政府任命之。

一、至明年九月九日。設立會社。

爆彈投下現狀 在繁華商店街 經非常警戒後即鎮靜

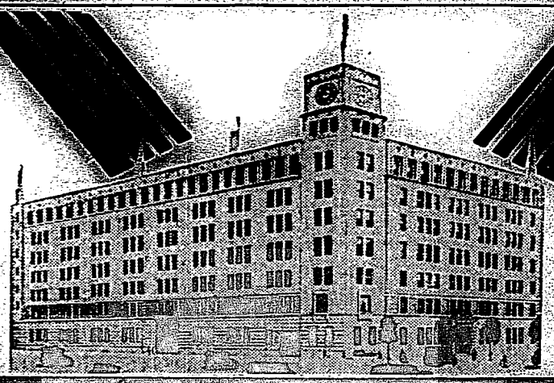
濱口八日電。爆彈事件。現場在出明堂書房之太平街。爲濱口第一商店街。附近有盛銀。三井物產支店等。多數邦人商社。華人一流商店。亦相輻比。事件發生當時。非常混雜。登時非常警戒。其後即鎮靜云

臺灣新報
日本夕刊共二十頁
臺北市北門町一丁目　臺灣日日新報社
臺北市表町二丁目　臺灣支社

冨山房國民文庫
東京神田三崎町　冨山房
支那文學史綱　定價二圓三十錢　送料内地二十二錢　笠井重治著
滿洲歷史地理　定價一圓　送料内地十二錢　後藤朝太郎著
三四・第判七八三頁　送料内地・三三錢・六二

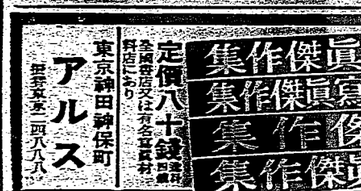
新民族の誕生
宮越健太郎著
二圓九十錢・ポケット版本　送料内地・一五錢・二〇
日本語辭典
大森金五郎著
三四五十錢・送料内・三
「大日本全史」覆編
大日本全史　全三卷
大森金五郎著
各卷定價二圓五十錢　送料各内・二二錢・二八
明治維新史研究
現代史學會編
定價二圓八十錢　送料内・三三錢・六二
劍と玉
高橋貞一著
二圓二十錢　送料内・二二錢・二八
中渡瀨次郎傳
中渡瀨一郎著
定價一圓五十錢　送料内・二二錢・二八
參考日本通史
木宮泰彥著
三四五十錢　送料内・二二錢・二四
國民日本歷史
高橋俊乘著
增訂版　三圓・送料内・二二錢・二八
國民西洋歷史
村上秀一著
三四・送料内地・二二錢・二八
柴田親雄著
三四・送料内・二二錢・二八
新編西洋通史
文學博士　瀨川秀雄著
全三卷　上卷四圓　下卷五圓　中卷四圓五十錢
西洋諺語集
文學博士　大類伸著
定價四圓五十錢　送料内地・三三錢・六二
國文學史十講
一圓八十錢　送料八十錢
國民性十論
一圓八十錢
作文講話及文範
定價二圓・送料二十錢
國文學講話及文範
芳賀矢一・藤井乙男・久松潛一共著
三四・送料内・三三錢・六二
日本讀史地圖
吉田東伍博士・吉田伊人補訂　改訂版
七四・送料内・三三錢・六二
實業讀史地圖
訂正增補版　節内亘編
定價七十錢　送料内地・三三錢・六二

世界歷史
杉谷代水・木村鷹太郎共著
全二冊　各冊一圓八十錢　送料各内・三三錢
西洋中世の文化
伸著
中世文化は近代文化の母、封建制度の中世、戰爭と勢力爭奪の興味無限。送料内・三三
希臘神話及北歐神話
杉谷代水・木村鷹太郎共著
定價八十錢　送料五十錢
とこしへ世界歷史
中島孤島著
全二冊　各冊一圓八十錢　送料各内・三三錢
大日本讀史地圖
吉田東伍博士・吉田伊人補訂　改訂版
七四・送料内・三三錢・六二
實業讀史地圖
訂正增補版　節内亘編
定價七十錢　送料内地・三三錢・六二
國文學講話及文範
芳賀矢一・藤井乙男・久松潛一共著
三四・送料内・三三錢・六二
豪華版　全廿六卷
書棚添付
各卷總布天金上製美本總紙數一萬七千頁
定價金七十一圓　特價金五十五圓
分割拂ノ便モアリ
申込次第即時配本
內容見本進呈
東京神田
弘道館　電話九段一、三六八九



臺灣支社
臺北市表町二丁目

本社・東京丸ノ内
社長・吉田秀人



ラメル特輯號
十月特輯號
寫眞入門讀本
寫眞入門讀本特輯
全國各店及文具店にあり
定價八十錢
アルス
東京神田神保町
集作傑眞寫物人ガイラ　1
集作傑眞寫景風スクヨン　2
集作傑眞寫の春　3
集作傑眞寫選特ラメル　4
▼高級カメラを買はうとすれば…北野武編
▼寫眞撮影の心得…飯田明
▼寫眞作家のアトリエ…高梨一雄
▼寫眞作家の秋をさぐる…長濱
▼カメラハイキング大光太郎
▼性能不詳のフィルム…井上宅雄
▼カメラハイキング大光太郎
▼寫眞撮影の心得…飯田明
▼引伸器の選擇…三吉堆
▼飯盛スケッチ…守正
▼静物作畫術…笹井禮堆
▼風景スケッチ…岡本唯一
▼寫眞撮影の心得…飯田明
▼寫眞撮影の心得…飯田明
▼寫眞撮影の心得…飯田明

昭和十一年十月十日　東京日日新聞　第一万三千百二十六號　（第三種郵便物認可）

皇國精神の宣揚は急務
清新明朗の機を逸する勿れ

一

皇國精神の宣揚は統治の大本であり、小林國體會の初動に於ても強調最も重要な事項として強調されたが顧みて、其の具體的方策に就いては大いに清新なるものが期待せられるのである。而して皇國精神の宣揚は最近における國際的緊張の社會の實情が要求するものと二の感銘あるのである。此の二者の何れを以てより重しとなし、何れを以てより緊急を要するかといふ事に關しては現實の社會の實情に立脚して進まねばならぬ事は勿論である

二

高橋四十方縣知事百貫島民は皆く空大勇の島民に俗して、百貫島民は皆く空大勇の島民に俗して、百貫島民は皆く空大勇の島民に俗して、

南洋督見

總督府管林所　玉手亮一

リナンホテルで爪哇料理ライステーブルを試食したが先づ饅頭を前に置いてそこへ十數人のボーイが列を作つて順次に運び來る飯菜の品數の多いのには驚いた、ライスの飯菜の料理したものを盛り上げるので殆ど饗宴なものだが僕の様な食の細いものには盛つた丈の飯が一杯になり併し百味遍く辛くないから仲々美味かつた

▼翌三十日　中部爪哇デ糖業試驗所ヲ訪ヒ午後ハ汽車ニテ三百二十キロ一日ヲ費ヤシテ東部爪哇ノ首都スラバヤニ到着シ直ニ自動車ニテ三十キロ程ノ道路ヲ四通八達ニ張リ廻ラシタル立派ナ自動車道路ヲ通過シテ同地ニアル糖業試驗所ヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十月一日　朝スラバヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼三日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼四日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼五日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼六日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼七日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼八日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼九日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十一日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十二日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十三日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十四日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十五日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十六日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十七日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十八日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十九日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十一日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十二日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十三日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十四日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十五日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十六日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十七日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十八日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十九日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼三十日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼三十一日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼三日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼四日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼五日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼六日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼七日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼八日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼九日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十一日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十二日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十三日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十四日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十五日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十六日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十七日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十八日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十九日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十一日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十二日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十三日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十四日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十五日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十六日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十七日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十八日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十九日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼三十日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼三十一日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼四日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼五日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼六日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼七日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼八日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼九日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十一日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十二日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十三日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十四日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十五日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十六日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十七日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十八日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十九日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十一日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十二日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十三日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十四日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十五日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十六日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十七日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十八日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十九日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼三十日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼三十一日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼三日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼四日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼五日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼六日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼七日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼八日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼九日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十一日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十二日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十三日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十四日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十五日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十六日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十七日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十八日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼十九日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十一日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十二日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十三日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十四日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十五日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十六日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十七日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十八日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二十九日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼三十日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼三十一日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼二日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼三日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼四日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼五日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼六日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪ヒ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼七日　朝ソロヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ジョクジャカルタニ到着シ午後ハ同地ノ名所古蹟ヲ見物シ夜ハ同地ノ有力者ノ招待ニ預リ盛大ナル晩餐會ニ臨ミ

▼八日　朝ジョクジャカルタヲ發シ汽車ニテ約二時間ノ行程ニアル古都ソロヲ訪